



しあわせに
鈍感なんじゃない。
さみしさに
敏感なだけ。

アカデミー賞®主演女優賞ノミネート

『ブルーバレンタイン』『マリリン 7日間の恋』

主演:ミシェル・ウィリアムズ

テイク・ディス・ワルツ

take this waltz

アカデミー賞®脚色賞ノミネート『アウェイ・フロム・ハー 君を想う』

監督:サラ・ポーリー

『50/50 フィフティ・フィフティ』

セス・ローゲン ルーク・カービー サラ・シルヴァーマン

JOE'S DAUGHTER & MONGREL MEDIA PRESENT MICHELLE WILLIAMS SETH ROGEN LUKE KIRBY AND SARAH SILVERMAN "TAKE THIS WALTZ" CASTING BY JOHN BUCHAN C.S.A. AND JASON KNIGHT C.S.A. MUSIC SUPERVISOR JODY COLERO MUSIC BY JONATHAN GOLDSMITH COSTUME DESIGNER LEA CARLSON EDITOR CHRISTOPHER DONALDSON PRODUCTION DESIGNER MATTHEW DAVIES DIRECTOR OF PHOTOGRAPHY LUC MONTPELLIER C.S.C. LINE PRODUCER D.J. CARSON PRODUCED BY SUSAN CAVAN AND SARAH POLLEY WRITTEN AND DIRECTED BY SARAH POLLEY PRODUCED WITH THE PARTICIPATION OF TELEFILM CANADA - THE ONTARIO MEDIA DEVELOPMENT CORPORATION - ASTRA'S THE HAROLD GREENBERG FUND PRODUCED IN ASSOCIATION WITH THE MOVIE NETWORK AN ASTRA NETWORK MOVIE CENTRAL A CORUS ENTERTAINMENT COMPANY AND SUPER ECRAN IN ASSOCIATION WITH TF1 DROITS AUDIOVISUELS

配給:ブロードメディア・スタジオ Broadmedia 後援:カナダ大使館  www.takethiswaltz.jp 

これは、数ある恋の話…。そして“その後”を描いた、まだ誰も知らないラブストーリー

テイク・ディス・ワルツ

かけがえのないものが、なぜ色褪せてしまうのだろう——。

愛する人と時間を育んだことがある人なら、誰もが重ねる“自分”の姿。
人間の深い感情の奥にある隙間を、サラ・ポーリーが強く温かく描く。



『スウィート ヒアアフター』『死ぬまでにしたい10のこと』などで、たぐいまれな存在感で異彩を放ってきた女優サラ・ポーリー。認知症に直面した老夫婦の、心の葛藤と深い愛を描いた『アウェイ・フロム・ハー 君を想う』で若干27歳にして長編監督デビューを果たし、アカデミー賞2部門にノミネートされたサラの待望の最新作が完成した。5年ぶりの監督作となる本作は、弾けるような恋愛時期から、温かく愛情深い生活に突入した若い夫婦の変わりゆく感情を静かに描いたラブストーリー。本能とモラルの間で揺れ動く主人公の姿は、恋のときめき、愛の切なさだけではなく、もう一步奥にあるどうしようもない感情をさらけだし、胸がしめつけられる。

実力派女優ミシェル・ウィリアムズが表現する等身大の女性像に、切なさが募る——。

主演は『マリリン 7日間の恋』など3度もアカデミー賞候補となったミシェル・ウィリアムズ。幼女のまま大人になったような、あどけなさと思議な色気が混在する魅力で、どこか危なげな主人公に息を吹き込んだ。妻を愛する夫を演じたのは、『50/50 フィフティ・フィフティ』のセス・ローゲン。その他、カナダ出身の新進俳優ルー・カービー、人気コメディエンスのサラ・シルヴァーマンが出演している。

監督・脚本・製作：サラ・ポーリー

出演：ミシェル・ウィリアムズ、セス・ローゲン、ルー・カービー、サラ・シルヴァーマン

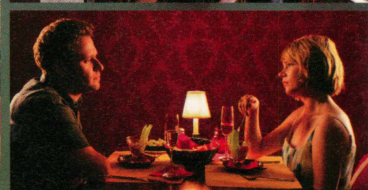
製作：スーザン・キャヴァン/撮影：リョック・モンベリエ/音楽：ジョナサン・ゴールドスミス/美術：マシュー・ディヴィス

2011/カナダ/原題：Take This Waltz/カラー/アメリカンビスタ/ドルビーデジタル

字幕翻訳：小野桐子/上映時間：116分

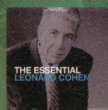
配給：ブロードメディア・スタジオ 後援：カナダ大使館

©2011 Joe's Daughter Inc. All Rights Reserved www.takethiswaltz.jp



STORY

フリーランスのライター、マーゴと、料理本を作る夫ルーは、結婚して5年目。2人の間に子供はいないが、いつまでも恋人同士のように仲睦まじく暮らしている。朝は一緒に目覚め、ベッドの中でひとしきり冗談を言い合い、キッチンで新しい料理を研究するルーにマーゴがちよっかいを出す。恋愛時代の情熱やときめきは薄れつつも、何ひとつ不満もなく穏やかな愛情を育む毎日。ある日、マーゴは仕事で訪れた島で、ダニエルという一人の青年に出逢う。情熱的な眼差しをもつダニエルに、強烈に惹かれる何かを感じてしまうマーゴ。ダニエルとの束の間の時間を楽しむが、彼が偶然にも自分たちの家の真向かいに住んでいることを知り、激しく動揺する。意図せずダニエルと過ごす時間が増え、夫とは正反対の彼に惹かれていくマーゴ。どうにもならない思いが募ったとき、マーゴが決めた道とは——。



劇中で使用され、本作のタイトルにもなった楽曲。

「ベスト・オブ・レナード・コーエン」にエッセンス・コレクション
発売元：ソニー・ミュージック ジャパン インターナショナル
3,360円(税込) / SICP 2901~2 [2CD]

8月11日(Sat)
ロードショー



オリジナルポストカード付特別鑑賞券1500円 絶賛発売中

有楽町イトシア イトシアプラザ4F
ヒューマントラストシネマ有楽町
03(6259)8608 www.ttcg.jp

テアトルシネマグループ

渋谷・東急本店ヨコ
Bunkamura ル・シネマ
03(3477)9264 http://www.bunkamura.co.jp

Bunkamuraを支えるオフィシャルサプライザー

OMRON 沼津製薬 KIRIN HITACHI LIXIL 東急グループ

全席指定・定員入替制 上映開始後の入場はできません。退場状況をご確認の上お出かけ下さい。